

高熱効率ルツボ式直接通電加熱保持炉

エレクリンキーパー

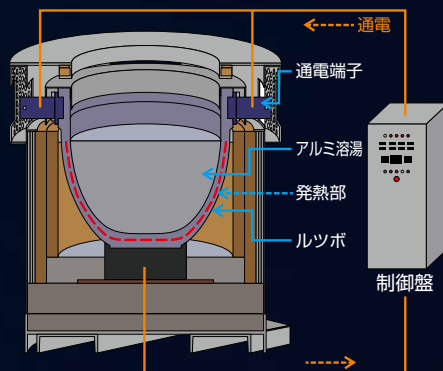


黒鉛ルツボに直接通電することで、
温度制御や排ガス防止に大きく貢献します。

エレクリンキーパーは、従来のバーナー等による加熱とは異なり、アルミニウムの溶湯の保持容器として使用する黒鉛ルツボに直接電流を通し発熱させる保持炉です。これにより±1℃の高精度の温度制御や、排ガス発生抑制が可能となりました。

ルツボ上部の形状を改良し端子温度の上昇を抑え、ルツボの長寿命化を実現しました。お客様のCO₂排出量低減に貢献できるよう取り組んでおります。

■ 基本構造図



会社概要 (2019年9月30日現在)

社 名 日本ルツボ株式会社(登記上社名:日本坩堝株式会社)
Name:Nippon Crucible Co., Ltd.
設 立 明治39年(1906年)12月
本店所在地 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル
TEL(代表): 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191
資本金 7億452万円
証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
会計監査人 有限責任監査法人トーマツ
証券コード 5355
従業員数 連結 241名 単体 169名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
株式に関する お手続きについて (住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合 (特別口座) みずほ信託銀行(TEL:0120-288-324)までお 問い合わせください。
公告方法	電子公告(http://www.rutsubo.com/) (ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告を することができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)

経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守り
つつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。

Heart&Spirit

当社は、明治18年の創業以来、お客様ニーズを的確に把握し新製品の開発、新ジャンルの開拓を推進し進めてまいりました。21世紀も、その姿勢は変わりません。

Ecology

当社は、どんなに優れた技術であっても地球環境にダメージをあたえてはならないと考えます。環境に対して求められるもの、必要なものを展望しながら製品・設備を提供してまいります。

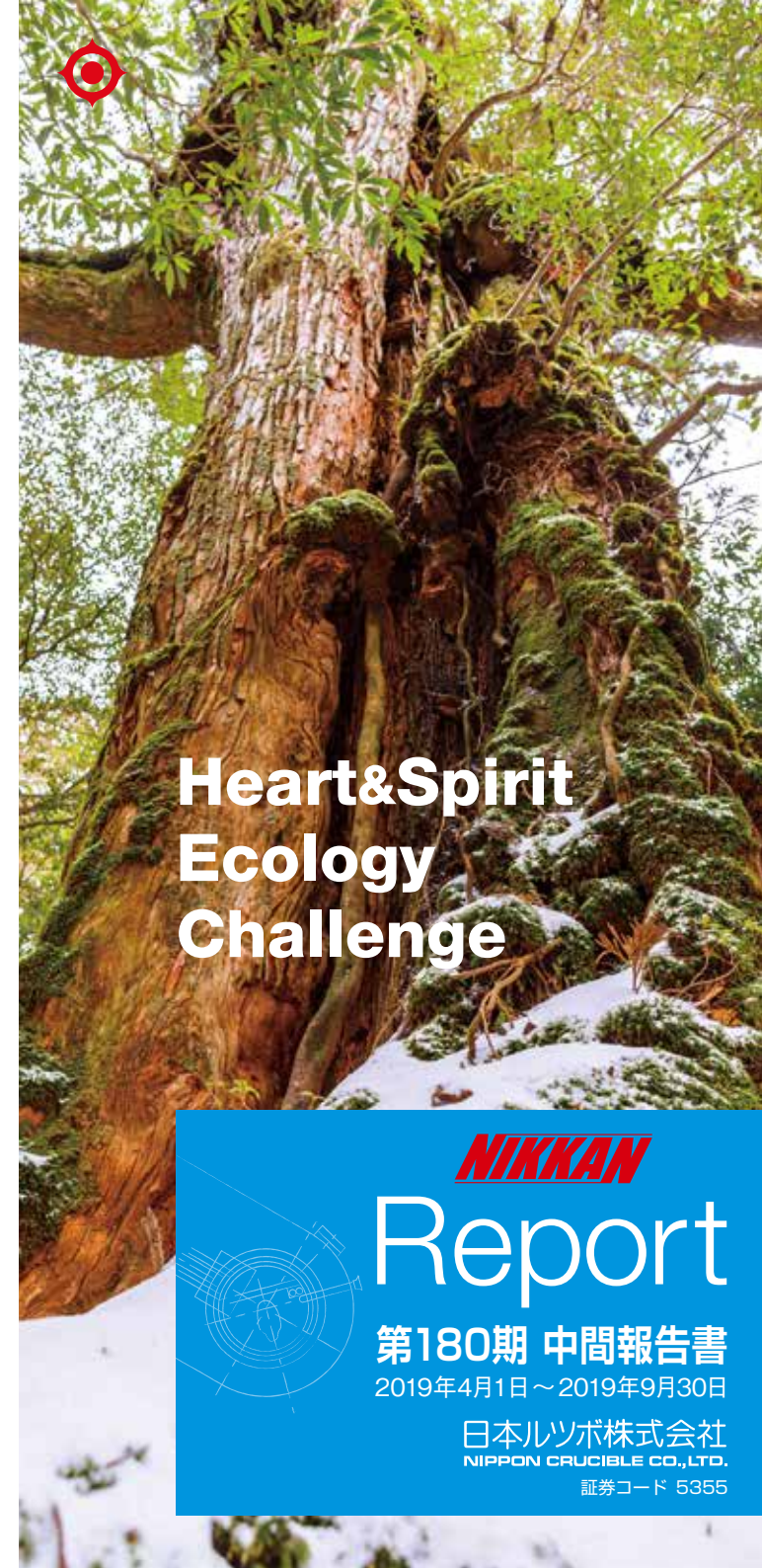
Challenge

「現状維持は退化につながる」という発想のもと、常に新しい技術を開発し続け、新しい分野への進出によりお客様の満足を実現してまいります。



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

URL:<http://www.rutsubo.com/>



Heart&Spirit Ecology Challenge

NIKKAN

Report

第180期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

証券コード 5355

当社は、グループ一丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益の底堅さや雇用の改善傾向もあって、総じて緩やかな回復基調で推移しました。先行きに関しましては、各種政策の効果に支えられ引き続き緩やかな回復が期待されますが、企業の業況判断は製造業を中心に慎重さが増しており、また米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速などの懸念材料もあって、不透明感が一段と高まっております。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、国内販売台数が前年度比増加を維持するなど、概ね堅調に推移しております。

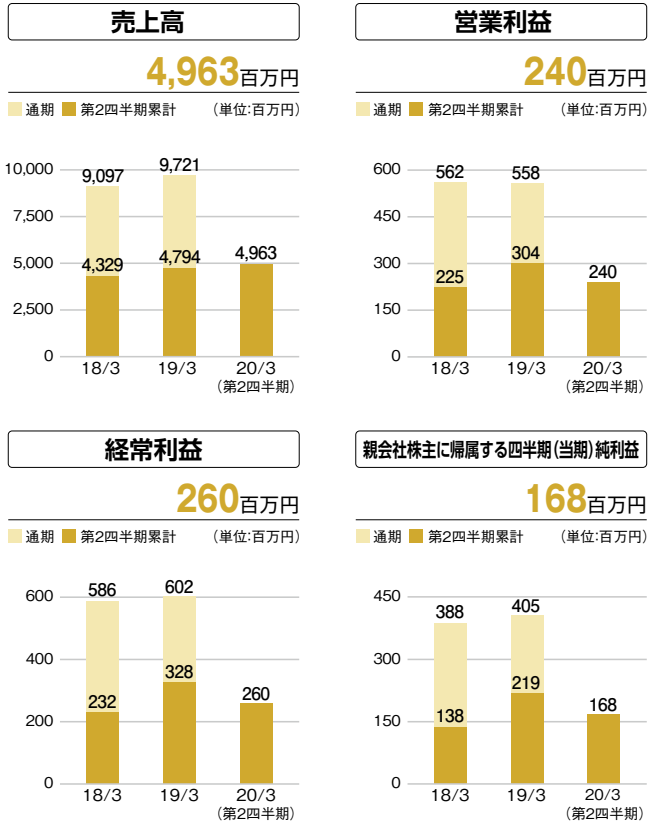
鉄鋼産業は、国内粗鋼生産量が足元前年比減少していることに加え、中国の粗鋼生産が引き続き高水準を維持しており、また米国の鉄鋼輸入制限措置などの需要下振れリスク要因もあって、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49億6千3百万円と前年同四半期比3.5%増加いたしました。しかしながら、利益面では、原材料価格の高止まり等により、営業利益は2億4千万円(前年同四半期比21.0%減)、経常利益は2億6千万円(前年同四半期比20.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千8百万円(前年同四半期比23.2%減)となりました。

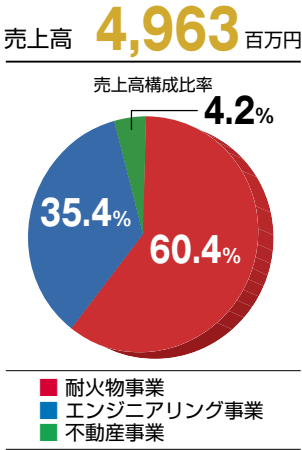
当社は、グループ一丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。今後とも、株主の皆様より変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
大久保正志

連結財務ハイライト



セグメント別概況(連結)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)		(単位:千円)
	当第2四半期連結会計期間 (2019.9.30)	前連結会計年度 (2019.3.31)
資産の部		
流動資産	6,594,899	6,738,255
固定資産	4,521,563	4,568,845
(有形固定資産)	(2,642,662)	(2,705,201)
(無形固定資産)	(378,978)	(390,286)
(投資その他の資産)	(1,499,923)	(1,473,358)
資産合計	11,116,462	11,307,100
負債の部		
流動負債	3,926,214	4,079,673
固定負債	2,552,828	2,695,825
負債合計	6,479,042	6,775,498
純資産の部		
株主資本	4,485,402	4,412,082
その他の包括利益累計額	152,018	119,520
純資産合計	4,637,420	4,531,602
負債純資産合計	11,116,462	11,307,100

四半期連結損益計算書(要旨)		(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (2019.4.1~2019.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2018.4.1~2018.9.30)
売上高	4,963,406	4,794,103
売上総利益	1,267,925	1,293,191
営業利益	240,365	304,426
経常利益	260,107	327,865
税金等調整前四半期純利益	260,055	326,569
四半期純利益	167,936	218,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,936	218,699

(注) 1. 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
2. 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。